

県内の2023年度NIE実践指定校（敬称略）

学校名	校長 (児童・生徒数)	担当教諭 代表者	テーマ
城北小 (熊本市)	石原 将 (389人)	丸目 高弘	「自ら学ぶ意欲とコミュニケーション力に富み、自らを伸ばす児童の育成」「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校を目指して」（一人一人を大切にする教育の推進＆「たい」のあふれる学校）
矢部小 (山都町)	山下 淳子 (184人)	三浦 優	新聞の題材を単元のスタートに、単元のゴールを再び新聞の題材にもどることで、学習を学習だけで終わらせず、社会や自分たちの生活とつなげる。
南関第二小 (南関町)	古川 浩美 (65人)	廣田 瑞樹	学校で新聞を教材として活用し、世界情勢や日本・地域のことに関心を持たせる。また、学校や地域の取り組みを新聞投稿することで、地域の魅力や自分たちの考えを発信することができ、児童の表現力も高めることができる。
菊之池小 (菊池市)	富永 泰寛 (277人)	一安 尊正	以前、新聞記者の方から新聞の読み方、書き方や取材の仕方などの指導を受け、5年生で取材したことを基に実際の新聞紙のレイアウトでまとめる活動を実施した。プロの目線から指導を受けたことで、子どもたちはたくさんのことを学ぶことができた。今後は全学年で系統的に取り組んでいきたい。新聞を通して「読むこと」「書くこと」の重要性や、各教科での新聞活用方法の在り方についても、検討を進めていきたい。
美咲野小 (大津町)	村田 典子 (705人)	泉 龍之介	本校児童は国語の「思考力、判断力、表現力」に課題が見られ、記録、要約、説明、論述といった言語活動を充実する必要がある。実社会や実生活の中から問いを見出し、情報を集めること、それらを多角的に考え、まとめ、表現する力を育成することが本校の目指す「学びを生かし考え行動する児童」につながると考える。国語の読解力向上を図り、自らの生き方を考えるキャリア教育の視点でNIEを活かした教育活動を展開したい。
出水南中 (熊本市)	城音寺 明生 (711人)	宮寄 知恵美	本校では「人権尊重の精神を基盤におき、創造力を豊かにし、誠実に行動し、勤労を尊ぶ生徒を育成する」という学校教育目標を達成するために、生徒同士の学びを深める話し合い活動（出南タイム）を活用して、道徳科や総合的な学習の時間における授業研究を推進してきた。今後は自主的に「課題を発見し、他者と協働しながら探求し続ける」生徒の育成を目指し、地域を知り、関わり、発信する活動を軸にNIEを活用していきたい。
大津中 (大津町)	平岡 馨 (459人)	中野 裕大	本校では、月に1度のNIEレッスンや、探求学習「大津町を調べよう」で町関連の記事で情報収集をするなど新聞記事を活用してきた。今後は、図書委員会と連携してNIEコーナー、新聞スクラップコーナーを設置し、生徒が新聞を身近に感じる工夫を行う。これまで社会、国語に留まっていた新聞活用を他教科でも積極的に取り入れ、生徒の情報収集能力、情報活用能力、読解力、批判的思考などの育成を目指していきたい。
高森東学園義務教育学校 (高森町)	本田 雅隆 (42人)	北 慎一郎	本校の研究テーマは「自立した学習者の育成」です。自立した学習者とは、「課題設定・解決」「他者との協働」「学びの把握と調整」の3つができることと捉えています。ICTと新聞を効果的に結びつけ、「情報活用能力」も高めながら、3つの力を高める取り組みを進めていきます。
菊池女子高 (菊池市)	荒木真紀子 (113人)		読み取る力、文章をわかり易くまとめる書く力を育成。世界、日本。地域の動きにアンテナを張る態度を育成。新聞のことわざコーナーや英語のコーナーを多角的に活かしたい。簡単な英語を取り上げてある記事などを活用し、英語の単文の訓練や、それを発展させた他の活動のヒントにしたい。